

横枝管から立て管への流下状況

100×80-65(1)

CP60シリーズ

汚水（大便器）の対向側に雑排水横枝管（浴室や洗濯パンなど）が配管されるケースで、汚水横枝管と雑排水横枝管の管底レベルが異なる（段差のある）、2段口タイプの継手では、そのレベル差によっては汚水排水が対向側の雑排水横枝管に流入します。（既報 2000.9.30号 <http://www.kojima-core.co.jp/20000930report.html>）

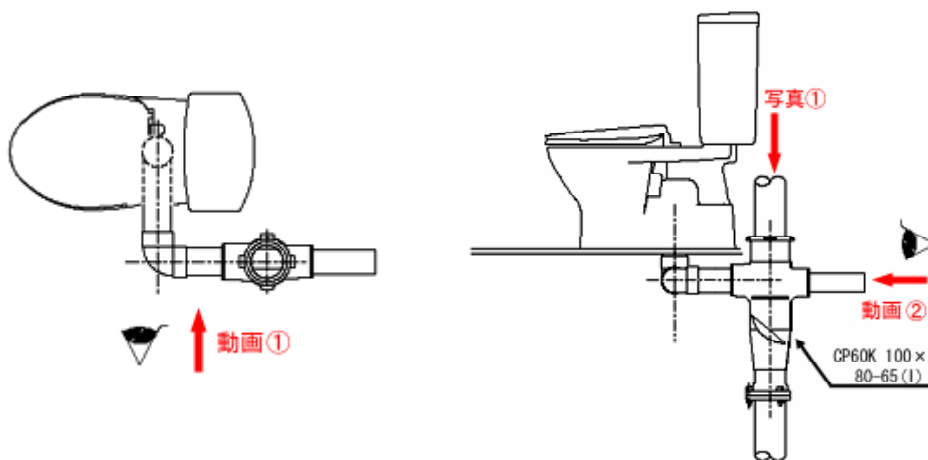
今回は、汚水横枝管と雑排水横枝管が相互に同一レベルで、かつ対向側に接続される継手について、同様な検証実験を行いましたので、その結果を報告します。

● 試験条件

供試継手： CP60K 100×80-65(1)

大便器： T社製 8L便器S型 サイホンゼット型

配管形態： 水平1曲がり（350mm + 350mm）



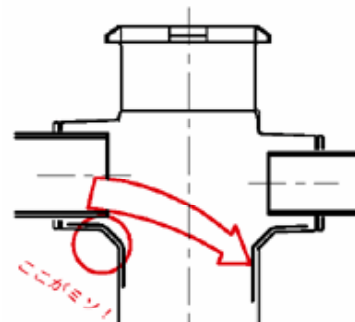
● 実験結果

汚水横枝管と雑排水横枝管が同一レベルで、かつ上記の実験条件では、汚水排水が雑排水横枝管に流入することはありません。動画でご確認下さい。

大便器からの排水が
CPジョイントに入った
ところ



汚水横枝管の対向に
位置する雑排水横枝管側



ここがミソ！

CPジョイントは横枝管受け口と本体との取合い部に傾斜部が設けてあります。

動画① 横枝管から立て管への流下状況を動画でご覧いただけます。

ISDN, アナログ (92KB) ブロードバンド (456KB)

動画② 横枝管から立て管への流下状況を動画でご覧いただけます。
(汚水横枝管の対向に位置する雑排水横枝管側から覗む)

ISDN, アナログ (96KB) ブロードバンド (471KB)



ご注意

動画をご覧になる際、データのダウンロードが完全でないと、止まって見えることがありますので、ダウンロードが完了するまでお待ち下さい。